

臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)

必修 2単位

近藤 清美

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は様々な心理支援について、その依拠する理論と技法について学ぶものである。心理支援の種類は一説によれば400種類以上あると言われているが、それらは大きく分けて、1)精神力動論、2)認知行動論、3)人間性心理学、4)ナラティブ・アプローチ、に分類できるが、その分類に収まらないものも様々な存在する。本講義では、それぞれの代表的な心理支援法について取り上げる。さらに、各心理支援について、対象者の状況や主訴に応じた技法の選択や調整についても論じる。

2. 授業の到達目標

- ①臨床心理学の理論と心理支援法のつながりを説明できる。
- ②主な心理支援法について、基本的概念や理論、技法、適用等を理解する。
- ③対象者の主訴や状況に応じて、ふさわしい心理支援法を選べるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト(持ち込み不可)50%,毎回の小テスト50%

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定なし

5. 準備学習の内容

基本的な知識の習得を目指すために小テストを行うため、毎回、復習を行い、次の授業に備えてほしい。適宜、心理臨床研究から論文を取り上げるので、授業の前に読んでほしい。

6. その他履修上の注意事項

- ・真剣に学ぼうとしている他の院生の邪魔をしないこと(私語、居眠り、欠席など)
- ・主体的・創造的な参加が望まれる。

この科目は臨床心理学専攻に特化した科目です。

7. 授業内容

- 【第1回】 心理支援の系譜
- 【第2回】 心理支援の基本的な進め方
- 【第3回】 対象者による心理支援の選択と調整
- 【第4回】 精神力動論(1):精神分析の各学派
- 【第5回】 精神力動論(2):分析心理学
- 【第6回】 精神力動論(3):自我心理学と対象関係論
- 【第7回】 人間性心理学に依拠した心理支援(1):クライエント中心療法
- 【第8回】 人間性心理学に依拠した心理支援(2):フォーカシング、ゲシュタルト療法
- 【第9回】 認知行動論(1):論理療法と認知療法
- 【第10回】 認知行動論(2):認知行動療法
- 【第11回】 子どもを対象とした心理支援
- 【第12回】 家族を対象とした心理支援
- 【第13回】 ナラティブ・アプローチ
- 【第14回】 わが国独自の心理療法
- 【第15回】 まとめと期末試験